

# ゆーぽんの人生漂流記

こんにちは。ゆーぽんです。

誰だよってなるかと思imasuので自己紹介をしておきます。

これを読んでもらえれば僕がどんな人間なのかわかるかと思imasu。

1992年生まれ。

現在25歳。

転職を五回ほど繰り返して現在一人で邁進中の男です。

遡ること約二十年・・・

僕は私立の幼稚園で英才教育を受けていました。

その頃のことは全く感じてはいませんでしたが、今になって他の幼稚園とは違うなと気づきました。

九九を習い、山手線を全て覚える・・・etc

幼稚園で習うようなものではありません。

冬なのに上半身裸で外運動等、体を鍛えるのも忘れていません。

今思うとなんだこの幼稚園は？と思ってします幼稚園でした。

幼き頃の記憶はそれくらいしか残っていないので小学生の頃まで飛びます。

小学校の僕は何かと元気が有り余っていて大体外でドッジボールや鬼ごっこの毎日。英才教育を受けていたのにもかかわらず、勉強は特に得意な方ではありませんでした。このころから少しずつ僕の人生が変わってきます。

クラスでは目立つ方のグループに位置しいじめっ子の一員に加わりやりたい放題の毎日でした。

今思うとほんとにくそな事してたなあと思います。

「死ね」や「キモイ」等の暴言はもちろんのことひどいときは砂場でリンチなんて日もありました。

そんなやりたい放題の小学校時代がついに終わりを迎え僕も中学生。いままで通り楽しくやっていたさなか、周りの異変

に気付きます。

(あれ? みんなに無視されてる・・・?)

僕は周りから裏切られ、いじめられっ子に早変わり。

部活動にも入っていましたがその中でも無視。

楽しかった日々はどこかに飛んで行ってしまい、毎日が苦痛で苦痛で大変でした。

ある日には呼び出されぶん殴られたりする始末。

どうなってんだ? これは?

ずっと考えていましたが一向にわからず、一年が過ぎていきました。

ある時、一人の同級生が話しかけてきました。

(また何かされるのか・・・)

そう怯えていた僕になんとも思いもよらない言葉が。

「今日暇? うちでゲームしようぜ!」

え? 今なんて?

頭がハテナになって自分でも驚きを隠しきれずにいましたがどうやら誘ってくれていたみたいです。

僕は泣きそうになりながら

「うん！ありがとう！」

と言いその同級生と帰りました。

その日を境に僕へのいじめは徐々になくなっていき、0になりました。

今思うとあの同級生の子のおかげで救われて本当に感謝でしかないです。

もちろん今でも友達です。

そんなこんなで中学校生活は波乱万丈の三年間となり幕を閉じました。

次は高校生です。

なんとか受験も合格して平凡な公立商業高校に入学することになりました。

しかし、その時からまた僕の様子は変わっていきました。

俗にいう「不良」。

タバコも吸って暴力沙汰もしばしば。

終いには学校の先生にまで手を挙げるくそ野郎に早変わり。

あの時の僕は本当にどうしたんでしょうね？それがカッコいいと思  
っていたのでしょうねw

無期停学になるまでやりたいことを繰り返し、将来のこともろくに  
考えずただただ遊び続けていただけの子供でした。

(就職は面倒だから、専門学校でも行くか。自動車系なら受かるだ  
ろ?)

などと全く根拠のない自信があり何にも気にせずただただ時間だけ  
が過ぎていきやっとの思いで三年生。

僕はそのまま自動車系の学校に入学することを決め、自動車学校へ  
と行くのです。

次は専門学校です。

この専門学校で僕はまた変わります。

あの頃の先生と出会っていなければもしかしたら僕はまだ子供のま  
まだったかもしれません。

専門学校に入学し初日。

舐められてはいけないと、金髪にオールバック。

めちゃめちゃ恥ずかしい格好で学校に行きました。

そこで何人かいる不良っぽい生徒と交流し自分たちのグループを作りました。

高校時代と何にも変わらず毎日を過ごしていた一週間後、その先生から僕は呼び出されました。

(怒るのか？やられたらやり返すだけだ)

などと思っていたでしょう。

しかしその先生の言葉がなぜか僕の胸に強く突き刺さってきました。

「強がったって何も変わらない。自分に正直になれ」

自分の過去をあたかも知っているような形で僕に告げました。

この時僕の中で何かが壊れました。

強がっていただけ。過去のいじめに捕らわれて少しでもまた弱いところを見せたらあの時代に逆戻ってしまうのではないかという恐怖感。

これらが一気にどこかへ吹っ飛んでいきました。

この日から僕は髪も染め直し、不良グループから脱退。

この先の人生についてももしっかり考えるようになっていき、やっと普通の人レベルにはなれました。

勉強も真面目にするようになり二年をかけて自動車整備の国家資格を手に入れました。

先生、ありがとうございます。先生のおかげで今の自分があるといってもいいくらいです。このご恩は一生忘れません。

そして社会へ・・・

冒頭でも少し触れましたが僕はもう五回ほど転職をしています。

業種は様々です。

自動車整備士、広告代理店、パチスロ屋の店員、雑誌アシスタント、販売員。

全くの異業種で働いてきました。そのことについても少しお話していきます。

まずは、自動車整備士。

専門学校を卒業し、晴れて社会人の仲間入りとなった僕は少しウキウキしていました。

(社会ってどんなものなんだろうか?)

高校時代にバイトはしていましたが、正社員で働くのとは全く別物です。

不安と期待を胸に入社式。

そして研修。一か月間の研修を終え、いよいよ店舗に配属となりました。

会社の幹部の方に連れられていざ店舗へ。

「よろしくお願ひします!!!」

これまでにないくらい元気な挨拶だったのを覚えています。

この日からまた辛い毎日が始まるのも知らずに・・・

初日は特に作業をせずに挨拶だけして帰り、次の日。

緊張しながらも出社して挨拶。

「おはようございます！」

周りの方々から元気とはかけ離れたような声で返事が返ってきました。

どうしたんだろう？などと疑問に思いつつ朝礼開始。

営業の本日の予定と入庫車両の確認等を済ませいざ業務開始。

「この車よろしく」

作業場で一番上の立場かと思われる人から指示があり僕困惑。

「あの一何をすれば・・・」

「自分で考えろ！！！！」

おい。待てよ。なんだそれ？今日初出勤だぞ？考えろもくそもあるかよ。わかるわけがない。

「すいません。わかりません」

「使えねーな。これをこうやるんだよ！！！」

いやいや。最初から教えてくれよそれくらい。

完全な新人いびりの店舗に配属されてしまったみたいです。

専門学校で心を入れ替え、期待と不安の社会進出一発目からこの仕打ちはないだろ。

なんとか一年半ほど続けましたが限界が来て退社を決意しました。

僕のころはズタズタに壊されていて軽いうつ病になっていきました。

しかしもう大人なんだ。働かなければ。という思いから立ち上がり次の会社の面接。

一発合格。

運よく違う会社に入ることが決まりました。

それがベンチャー企業の広告代理店。

自動車整備士はまだ少しトラウマがあって全くの異業種にシフトしました。

社員の方々はとても愛想が良く僕を歓迎してくれました。

ここなら楽しく仕事ができるなと思い精進する毎日。

一か月後、事態は起きました。

社長から、元気のない声で。

お前もう明日から来なくていいよ。

いきなりのクビ宣言・・・

はい？そんなんアリ？一か月しかまだ働いてないんですけど？

びっくり仰天の僕。うつむく社長。

僕は納得がいかないまま外に飛び出して他の社員の方に連絡をとり、  
事情を話しました。

会社、倒産だって・・・

他の社員の方がそう口にしました。

倒産？まだ一か月・・・なんで俺を入社させた？

もう本当にワケがわからなかったのを覚えていますね。

ほんとになんだったんでしょうか？

代理店営業をするために新しく別途タブレット PC を買ったり、自宅から通勤する交通費片道 500 円オーバー、さらにそこから渋谷や新宿まで営業に行く交通費片道 300 円オーバー。

一か月間給料 0 円。

はい。極貧生活始まりです。

このころ僕は会社を信じられなくなっていました。

一か月で会社倒産はちょっとビッグイベント過ぎましたね。

そこからもう社会には何も期待しなくなり、バイトで生計をたててダラダラ生きてきました。

そんな僕にも久しぶりに彼女が出来ました。

彼女と同棲を始めるために、バイトでちょっとずつ貯めていたお金を全放出。

アパートを借りていざ同棲開始。

同棲していると僕の気持ちはある方向へ変わっていきます。

バイトじゃだめだ。正社員になろう。

そんなこんなで面接に行き二社目で合格。

販売員として働くことになりました。

しかしまたその職場はとんでもないところでした。

理不尽な罵声。ノルマノルマと毎日必死にもがく社員。

ほんとに苦痛でした。

僕はブラック企業を引き当てるセンスが抜群に長けているんでしょ  
うかね？

僕の幸せは彼女といることだけ。

彼女の為にも頑張らなければ！

そう心の中で叫んで毎日毎日乗り越えていきました。

それから一年半がたったある日、彼女が真剣な顔で僕に言いました。

「別れよう」

え？なんで？今までそんな素振りなかったじゃん。

はい。僕の恋愛は儚く散りました。

そんなメンタルの中、毎日の罵声。ノルマ。

いやになって仕事を辞めました。

これが過去最近までの僕の社会経験です。

そして現在です。

投資関係の紹介やネットビジネスで何とかギリギリ食べています。

毎日苦痛でしかなかったノルマや罵声がなくなるのはほんとにいい  
ものです。

ストレスフリーで働く。人間らしく生きている気がします。

今後もこのスタンスで生きていこうと思います。

いかがでしたでしょうか？

ゆーぽんの人生漂流記。

省略してしまったことも多々ありますが(彼女のところ特に)大体わ  
かっていただけだと思います。

こんな人もいるんだよということで覚えておいてもらえたら嬉しい

です！

気になること等ありましたら答えられる範囲でお答えいたしますの

で是非どうぞ！

それではまたっ！